

児童発達支援・放課後等デイサービス あびーちた 支援プログラム

作成日：R6.12.02

法人理念	「子どもたちの未来」「個性」「自立」を育てる場所 「将来について考える」「選択の幅を広げる」きっかけの場所 「笑顔」「感謝」が溢れる場所 安心できる居場所でありたい					
支援方針	子どもたちの生活に必要な力を身につけるためプログラムを通して 一人おひとりの「個性」に合わせた支援、自立を促す支援を行う。 あびーちたで過ごす時間、友達や職員との関わり、活動を通して相手を思いやる心を育てる。					
営業時間	平日	9:30	～	18:30	送迎実施の有無	有
	祝・学校休業日	8:30	～	17:30		
五領域	支援内容					
本人支援	健康・生活	・毎日体温測定を行い、健康管理を行う。 ・手洗い等の清潔保持、日常生活動作の支援をする。 ・通所時の身辺処理（忘れ物、宿題など）を利用者に合わせ実施し、習慣化できるように支援する。 活動を通して行っていること ・生活職業練習：相手の指示通りに物事をこなしていくスキルを身につける。 （作業訓練/指示通りのお仕事練習/おやつ作り/昼食作りなど） ・ソロ活：好きなことを見つけ、自分時間を過ごせるスキルを身につける。 （読書/ペーパークラフトなど1人でできることを中心に行う。）				
	運動感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い支援する。 活動を通して行っていること ・感覚統合：体力づくり。ルールを理解した上で身体のコントロール能力を高める。 （スポーツ/公園遊び/体幹・バランス運動/ダンスなど） ・製作：作品を作るにあたって想像力を養い、物を正しく使うことを知る。 （季節の製作/実験など）				
	認知・行動	・1日のスケジュールを確認、解釈しやすいような環境設定を行い、把握できるように支援する。 ・こだわりへの支援をする。 活動を通して行っていること ・プログラミング：プログラムを立てて実行する力を身につける。 （パソコンを使ったプログラミング/外出行事や工作などの予定を立てるなど） ・ビジョントレーニング：目で見て、耳で聞いて理解する力を身につける。 （ナンバータッチ/脳トレーニング/旗揚げゲームなど）				
	言語 コミュニケーション	・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供する。また援助、支援する。 ・利用児童の特性に応じたコミュニケーション方法を提案、助言する。 活動を通して行っていること ・SST（個別）：相手の気持ちを知り、考える力を身につける。（個別で事例を用いたプリント学習/ボードゲームなど）				
	人間関係・社会性	・挨拶や場面にあった言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力を身につける。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ること、協調、共感した関わりを持てるように支援する。 ・他者との適性や距離感を把握できるように支援する。 活動を通して行っていること ・社会学習：社会でのマナーやルールを身につける。 （駅やバス停まで歩く/外出行事（図書館や博物館など）/買い物練習など） ・イベント・余暇活動：長期休み・祝日など日頃の療育の成果を発揮する。（季節の行事/外出活動など）				
家族支援	・連絡帳、送迎時の会話などで随時情報共有を行う。 ・家庭関係（両親・祖父母・兄弟）・環境に応じて必要な協力や助言を行う。	移行支援		・相談支援事業所や障害福祉サービスとの連携を行う。 ・学校や併用利用先との情報共有を行う。		
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や障害福祉サービスとの連携を行う。 ・学校や併用利用先との情報共有を行う。 ・地域の消防署と防災訓練を行う。	職員の質の向上		・定期的な活動会議、職員会議の実施。 ・職員の勉強会や外部への研修の実施。		
主な行事等	・季節の行事（餅つき大会、流しそうめん、BBQ、釣り、ハロインパーティー、クリスマスパーティーなど） ・長期休暇・祝日は外出行事。 ・あびー祭りの実施（保護者交流等も含む）					